

インドの「判断基準」策定に向けたステアリングコミッティ会議に専門家を派遣しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省から委託を受けて、今年度のインド向け事業として、インド産業部門への「判断基準（Energy Conservation Guideline）」の導入支援を実施しています。11月24日（金）、インドエネルギー効率局（BEE: Bureau of Energy Efficiency）が主催する”Interactive Session on Draft Energy Conservation Guideline”に参加し、インド版「判断基準」策定に協力しました。



日本側代表の挨拶

セッション参加者の様子

日本のプレゼンテーション

インドは、現在、産業部門における省エネルギー推進のための政策としてインド版「判断基準」の策定を進めています。本年5月にインドエネルギー効率局(BEE)の下にステアリングコミッティが組織され、インド版「判断基準」の原案作成作業が進められてきましたが、このほど、インド版「判断基準」の大枠が固まったことから、広く一般企業、産業団体の意見を聴取するためBEE主催により”Interactive Session on Draft Energy Conservation Guideline”がデリーで開催されました。ECCJは、オブザーバーとして招待され、日本の判断基準の概要について説明しました。